

平成16年地域児童福祉事業等調査結果の概況

目次

[認可外保育施設利用世帯]

調査の概要	-----	1頁
結果の概要		
1 世帯の状況	-----	3
2 父・母の就業状況等	-----	3
3 認可外保育施設への入所の状況	-----	5
4 認可外保育施設の利用状況	-----	7
用語の説明	-----	13

平成16年地域児童福祉事業等調査の結果は、厚生労働省ホームページにも掲載されています。

厚生労働省ホームページ(URL) <http://www.mhlw.go.jp/>

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、保育を中心とした児童福祉事業に対する市町村の取組などの実態を把握し、多様化した需要に的確に対応した児童福祉行政施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

平成16年調査は、認可外保育施設を利用する世帯の実態を把握することにより、認可外保育施設における保育内容・保育環境の改善等を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

児童福祉法に基づいて届出された全国の認可外保育施設（事業所内保育施設、ベビーホテル、その他の認可外保育施設）を利用する世帯を対象とし、層化無作為に抽出した施設における利用世帯を客体とした。

3 調査の期日

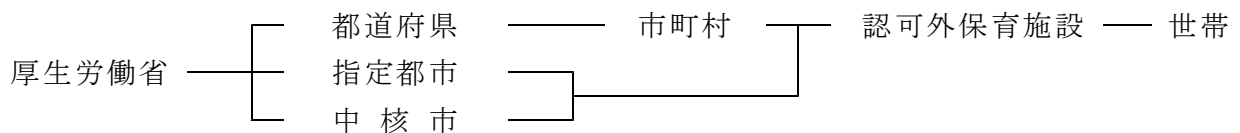
平成16年10月1日

4 調査の事項

世帯の状況、父・母の就業状況、認可外保育施設への入所状況 等

5 調査の系統及び方法

(1) 調査の系統



(2) 調査の方法

市町村を通じて、あらかじめ指定された認可外保育施設に調査票を配付し、当該施設を利用している児童の保護者が調査票に記入した後密封し、施設管理者が回収した。

6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(1) 調査客体数等

調査客体数	回収客体数	回収率	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
15,181	12,625	83.2%	12,564 (内訳) 事業所内保育施設 2,883 ベビーホテル 5,061 その他の認可外保育施設 4,620

(2) 推計利用世帯数

施設の種類	推計利用世帯数	(構成割合)
総数	165,337	(100.0%)
事業所内保育施設	13,046	(7.9%)
ベビーホテル	35,872	(21.7%)
その他の認可外保育施設	116,419	(70.4%)

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数のあり得ない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は、四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合もある。

結果の概要

1 世帯の状況

認可外保育施設利用世帯の世帯構造をみると、全ての類型で「両親と子の世帯」が最も多く、「事業所内保育施設」では75.8%、「ベビーホテル」では72.8%、「その他の認可外保育施設」では77.5%となっている。

これを平成15年の本調査における保育所（認可保育所）利用世帯（以下、「平成15年保育所利用世帯」という。）の状況と比べると、全ての類型で「両親と子の世帯」の割合が多く、「三世帯世帯」が少なくなっている。（表1）

表1 施設の類型別にみた利用世帯の状況
(単位：%) 平成16年10月1日現在

	事業所内保育施設	ベビーホテル	その他の認可外保育施設	保育所 (平成15年)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
両親と子の世帯	75.8	72.8	77.5	64.2
三世帯世帯	18.4	11.4	17.5	23.9
母子世帯	5.0	14.0	3.8	10.4
父子世帯	0.2	0.8	0.5	0.6
その他の世帯	0.6	1.0	0.7	0.9

2 父・母の就業状況等

(1) 父・母の就業状況

父・母の就業状況をみると、全ての類型で「常勤」が最も多く、父「常勤」では「事業所内保育施設」が84.9%、「ベビーホテル」が82.1%、「その他の認可外保育施設」が83.6%となっている。母「常勤」ではそれぞれ62.2%、47.4%、39.4%となっている。

これを平成15年保育所利用世帯の状況と比べると、全ての類型で父・母とも「常勤」の割合が多くなっている。（表2）

「常勤」の父・母の平成16年9月25日（土）の勤務状況をみると、「事業所内保育施設」は父・母とも5割以上が「勤務した」となっている。同様に平成16年9月26日（日）の勤務状況をみると、「事業所内保育施設」と「ベビーホテル」では父・母とも2割以上が「勤務した」となっている。

さらに、これを平成15年保育所利用世帯の「常勤」である父・母の勤務状況と比べると、「事業所内保育施設」と「ベビーホテル」では、土曜日、日曜日ともに「勤務した」母の割合が多くなっている。（図1）

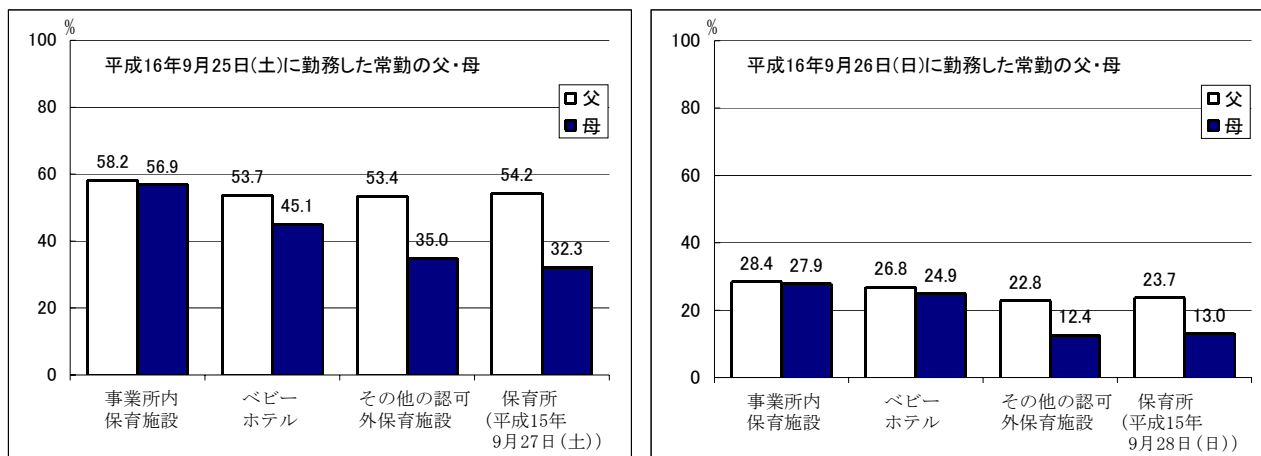
表2 施設の類型別にみた父・母の就業状況

(単位：%) 平成16年10月1日現在

	父				母			
	事業所内保育施設	ベビーホテル	その他の認可外保育施設	保育所 (平成15年)	事業所内保育施設	ベビーホテル	その他の認可外保育施設	保育所 (平成15年)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
常勤	84.9	82.1	83.6	80.4	62.2	47.4	39.4	35.7
臨時・パート・アルバイト	3.0	2.5	1.7	2.1	30.6	35.8	30.8	42.6
自営業・家業	9.4	13.0	12.4	15.4	3.9	6.8	6.3	10.4
内職	-	0.0	0.0	0.0	-	0.4	1.0	2.7
無職	1.5	1.4	1.2	1.0	2.9	7.5	20.3	6.3
その他	0.4	0.5	0.5	0.6	0.0	1.2	0.7	1.9
不詳	0.8	0.5	0.6	0.4	0.3	0.9	1.5	0.4

注：「無職」には、「学生」を含む。

図1 施設の類型別にみた「常勤」の父・母の勤務状況



(参考) 認可外保育施設の類型別開所割合 (平成15年地域児童福祉事業等調査) (単位: %)

	土曜日	日曜日
事業所内保育施設	82.5	34.2
ベビーホテル	94.6	57.2
その他の認可外保育施設	85.0	11.4

(2) 世帯の年収と月額利用料の状況

世帯の年収 (平成15年) と月額利用料 (平成16年9月) をみると、世帯の年収は全ての類型で「400～600万円未満」が多く、月額利用料は「事業所内保育施設」が「1万円未満」、「ベビーホテル」は「4～5万円未満」、「その他の認可外保育施設」は「2～3万円未満」の世帯が最も多くなっている。(表3)

表3 施設の類型別にみた世帯の年収 (平成15年) と月額利用料 (平成16年9月) の状況 (単位: %)

世帯の年収	月額利用料								
	総数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7万円以上
事業所内保育施設									
総数	100.0	32.9	22.4	17.9	10.3	4.9	3.4	1.7	1.4
200万円未満	4.8	1.7	1.0	1.0	0.4	0.3	0.2	0.1	0.0
200～400万円未満	17.4	7.5	4.5	2.5	1.0	0.9	0.2	0.2	0.1
400～600万円未満	26.7	10.4	5.9	4.7	2.4	1.0	0.7	0.5	0.2
600～800万円未満	21.3	6.0	4.9	4.1	2.5	1.1	0.9	0.4	0.4
800～1000万円未満	11.3	2.5	2.4	2.3	1.5	0.5	0.8	0.3	0.3
1000～1200万円未満	4.4	0.7	0.8	0.9	1.0	0.4	0.1	0.1	0.2
1200万円以上	3.6	0.7	0.6	0.6	0.8	0.2	0.1	0.1	0.1
ベビーホテル									
総数	100.0	2.7	3.3	8.2	20.5	22.7	16.6	9.9	11.7
200万円未満	9.8	0.5	0.4	0.9	2.7	1.7	1.5	0.7	0.8
200～400万円未満	17.2	0.5	0.5	1.5	4.5	4.1	2.6	1.2	1.3
400～600万円未満	23.2	0.7	0.8	2.6	4.8	6.2	3.4	2.0	2.2
600～800万円未満	16.1	0.3	0.9	1.4	3.2	3.8	2.7	1.8	1.7
800～1000万円未満	10.3	0.2	0.2	0.5	1.4	2.2	2.3	1.5	1.8
1000～1200万円未満	5.6	0.1	0.1	0.2	0.8	1.3	1.3	0.8	1.0
1200万円以上	7.4	0.1	0.1	0.3	0.7	1.3	1.5	1.1	2.0
その他の認可外保育施設									
総数	100.0	1.6	7.9	24.7	23.1	18.0	9.8	5.9	6.3
200万円未満	5.8	0.3	0.1	2.1	1.4	0.8	0.7	0.1	0.1
200～400万円未満	17.4	0.4	1.5	6.0	3.7	3.3	1.3	0.5	0.3
400～600万円未満	25.8	0.3	2.2	7.4	5.9	4.4	2.0	1.4	1.3
600～800万円未満	18.8	0.2	1.5	3.5	5.0	3.5	2.0	1.1	1.5
800～1000万円未満	9.8	0.1	0.6	1.4	2.1	2.0	1.3	1.1	1.0
1000～1200万円未満	4.8	0.1	0.4	0.5	1.3	0.8	0.8	0.4	0.5
1200万円以上	5.5	0.0	0.2	0.5	1.0	1.0	0.7	0.8	1.2

注: 総数に不詳を含む。

3 認可外保育施設への入所の状況

(1) 施設の選択理由

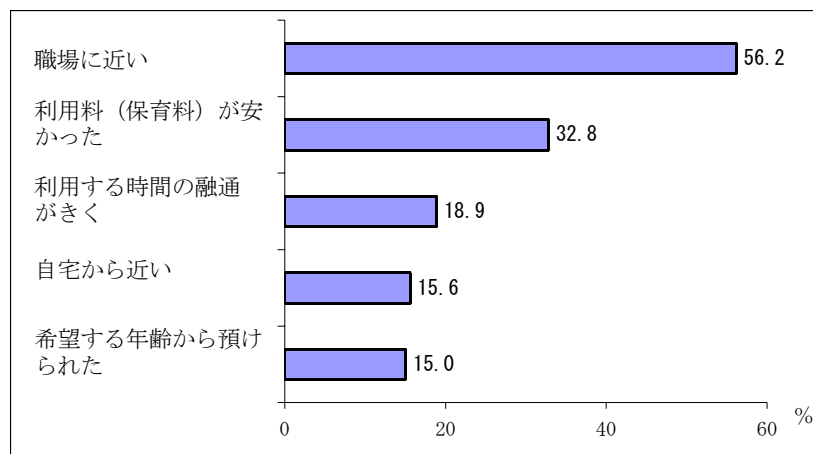
認可外保育施設の選択理由をみると、「事業所内保育施設」では「職場に近い」が56.2%と最も多く、次いで「利用料（保育料）が安かった」が32.8%となっている。

「ベビーホテル」では「利用する時間の融通がきく」が37.0%、「自宅から近い」が33.8%と多く、「その他の認可外保育施設」では「自宅から近い」が41.4%、「保育方針や内容がよかった」が34.2%と多くなっている。（図2）

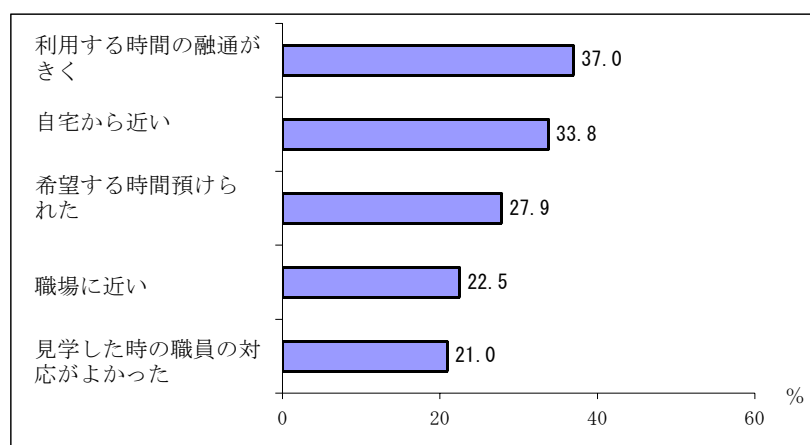
図2 施設の類型別にみた利用施設の選択理由（複数回答）

平成16年10月1日現在

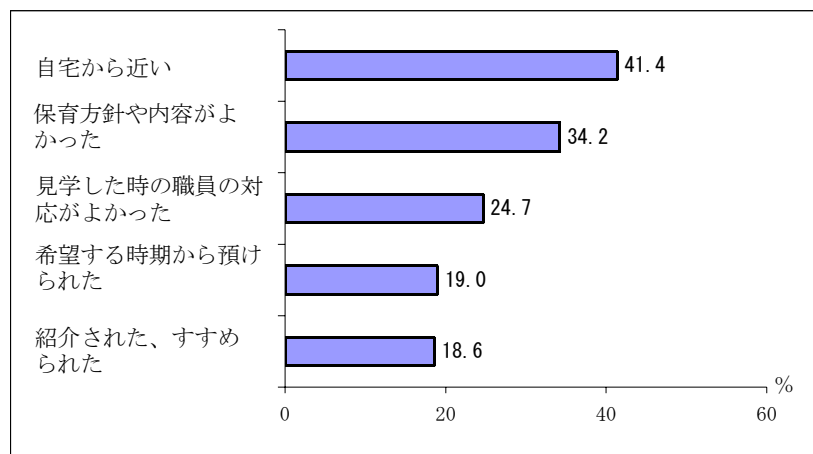
[事業所内保育施設]



[ベビーホテル]



[その他の認可外保育施設]



注：選択理由は施設の類型ごとに上位5つのみを表章した。

(2) 認可保育所との比較

施設を選んだときの認可保育所との比較の状況についてみると、「事業所内保育施設」では「認可保育所とは比較せずに、現在の施設を選んだ」が67.5%となっている。「ベビーホテル」と「その他の認可外保育施設」では「認可保育所と比較したが、現在の施設を選んだ」が、それぞれ65.5%、60.0%となっている。

「認可保育所と比較したが、現在の施設を選んだ」について、その理由をみると、「事業所内保育施設」では「(認可保育所の方が)費用が高かった」が31.0%と最も多くなっている。「ベビーホテル」では「(認可保育所に入りたかったが)空きがなかった」と「(認可保育所に入りたかったが)保育時間の利用条件が希望に合わなかった」がともに31.6%と最も多くなっており、「その他の認可外保育施設」では「(認可保育所に入りたかったが)空きがなかった」が27.2%と最も多くなっている。(表4)

表4 施設の類型別にみた認可保育所との比較の有無・現在の施設を選んだ理由

(単位：%)

平成16年10月1日現在

	事業所内保育施設	ベビーホテル	その他の認可外保育施設
総数	100.0	100.0	100.0
認可保育所とは比較せずに、現在の施設を選んだ	67.5	34.5	40.0
認可保育所と比較したが、現在の施設を選んだ	32.5 (100.0)	65.5 (100.0)	60.0 (100.0)
空きがなかった	7.7 (23.6)	20.7 (31.6)	16.3 (27.2)
預かってくれない年齢だった	1.5 (4.6)	2.7 (4.1)	2.8 (4.6)
預けたい時期に入れなかった	3.5 (10.7)	6.7 (10.3)	6.7 (11.1)
場所、距離の利用条件が希望に合わなかった	2.5 (7.5)	5.3 (8.1)	4.1 (6.9)
保育時間の利用条件が希望に合わなかった	4.1 (12.5)	20.7 (31.6)	7.0 (11.6)
共働きなどの親の入所要件を満たしていなかった	2.6 (7.9)	5.1 (7.7)	8.1 (13.6)
保育の方針などに合わなかった	1.4 (4.2)	3.3 (5.0)	7.0 (11.7)
費用が高かった	10.1 (31.0)	4.2 (6.5)	9.2 (15.3)
その他	3.1 (9.7)	3.5 (5.3)	5.3 (8.8)
不詳	0.1 (0.3)	0.3 (0.4)	0.2 (0.3)

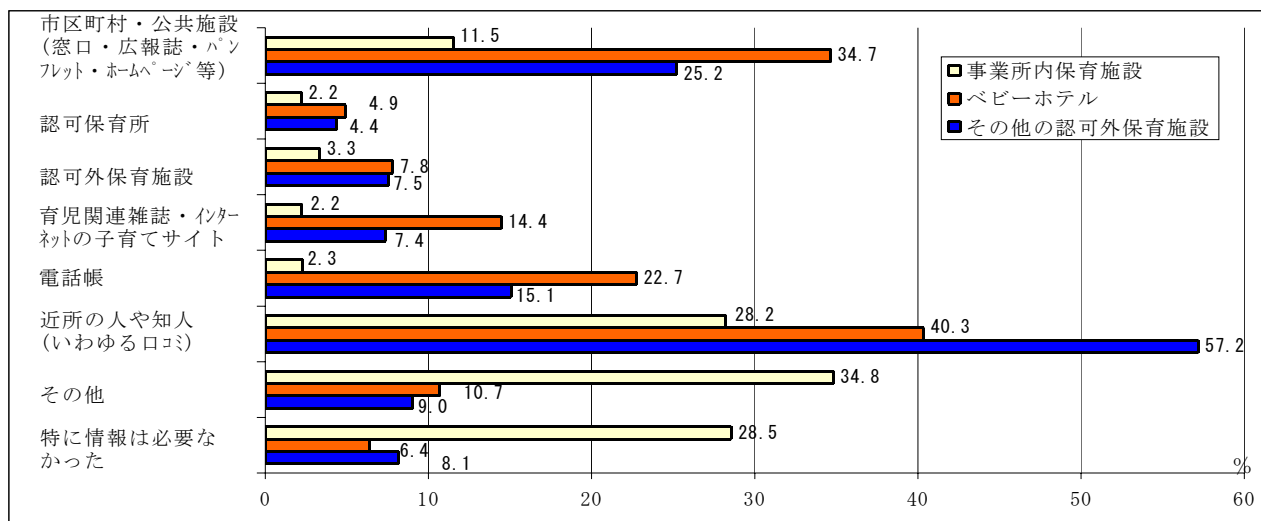
注：()内は、「認可保育所と比較したが、現在の施設を選んだ」を100.0とした時の割合である。

(3) 施設を選ぶための情報の入手状況

施設を選ぶための情報の入手先をみると、「ベビーホテル」と「その他の認可外保育施設」では「近所の人や知人(いわゆる口コミ)」が、それぞれ40.3%と57.2%、「市区町村・公共施設(窓口・広報誌・パンフレット・ホームページ等)」が、それぞれ34.7%と25.2%と多くなっている。(図3)

図3 施設の類型別にみた施設を選ぶための情報入手先(複数回答)

平成16年10月1日現在

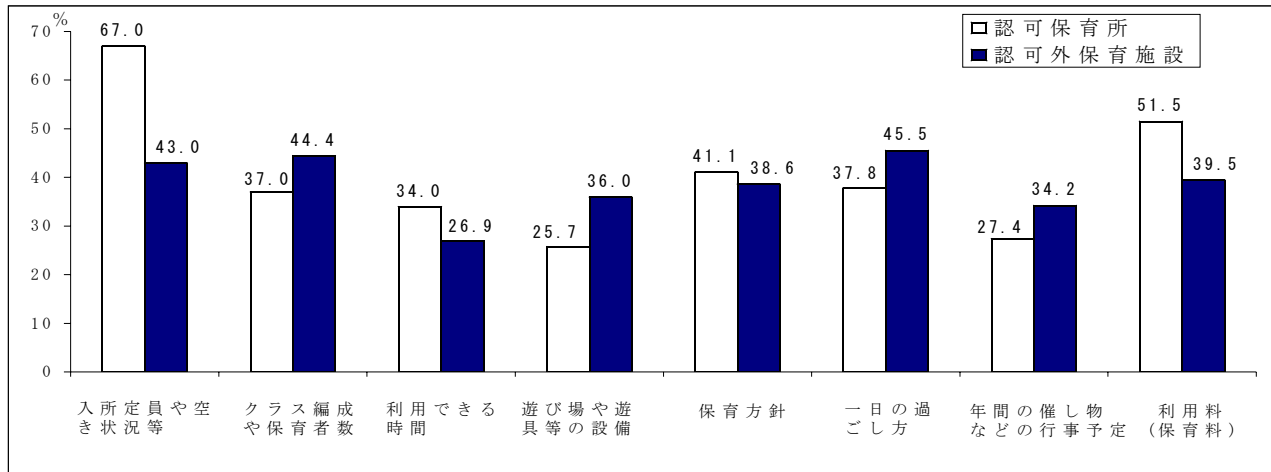


(4) 必要情報の入手状況

施設を選ぶために必要な情報について、不足していた世帯が「もっと詳しく知りたかったこと」をみると、「認可保育所」については、「入所定員や空き状況等」や「利用料（保育料）」が多く、「認可外保育施設」については、「一日の過ごし方」や「クラス編成や保育者数」などが多くなっている。（図4）

図4 施設を選ぶために「もっと詳しく知りたかった」情報（複数回答）

平成16年10月1日現在



注：数値は、それぞれ「必要な情報が不足していた」世帯（認可保育所については41.3%、認可外保育施設については30.6%）を100.0とした時の割合である。

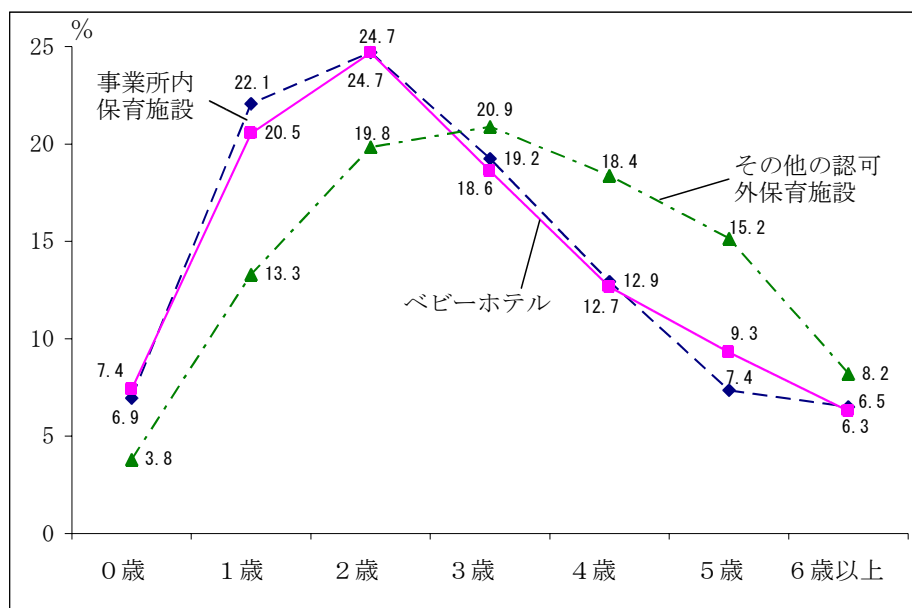
4 認可外保育施設の利用状況

(1) 入所児童の年齢と入所時の子の年齢

施設の類型別に入所児童の年齢をみると、「事業所内保育施設」と「ベビーホテル」では「2歳」、「1歳」の順に多く、「その他の認可外保育施設」では「3歳」、「2歳」の順に多くなっている。「事業所内保育施設」と「ベビーホテル」の年齢構成は、ほぼ同様の傾向となっている。（図5）

図5 施設の類型別にみた入所児童の年齢

平成16年10月1日現在



入所児童の年齢別に入所時の子の年齢をみると、「事業所内保育施設」では、ほとんどの年齢で「0歳」が最も多くなっており、「その他の認可外保育施設」では、4歳以上で「3歳」からの入所の割合が最も多くなっている。(表5)

表5 施設の類型別にみた入所児童の年齢と入所時の子の年齢

(単位：%)

平成16年10月1日現在

入所児童の年齢	入所時の子の年齢							
	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上
事業所内保育施設								
総数	100.0	45.6	32.1	10.7	7.0	2.2	0.9	0.3
0歳	100.0	99.4
1歳	100.0	57.7	41.6
2歳	100.0	43.7	42.2	13.2
3歳	100.0	30.6	32.6	20.7	15.4	.	.	.
4歳	100.0	34.4	24.8	14.2	19.2	6.9	.	.
5歳	100.0	31.5	24.2	12.2	12.3	10.8	6.7	.
6歳以上	100.0	39.0	18.7	11.2	10.4	8.2	6.8	4.7
ベビーホテル								
総数	100.0	38.5	29.2	14.8	8.6	4.1	1.2	0.7
0歳	100.0	98.5
1歳	100.0	57.6	41.3
2歳	100.0	33.4	43.6	21.3
3歳	100.0	26.1	27.4	30.0	13.9	.	.	.
4歳	100.0	22.7	19.6	15.3	26.8	12.8	.	.
5歳	100.0	22.8	16.6	16.2	18.7	16.0	6.5	.
6歳以上	100.0	20.7	13.7	9.0	14.5	15.1	9.0	11.5
その他の認可外保育施設								
総数	100.0	28.0	28.2	18.0	16.4	5.9	1.3	0.3
0歳	100.0	98.6
1歳	100.0	55.0	43.6
2歳	100.0	27.9	46.3	24.0
3歳	100.0	22.6	27.1	27.8	21.1	.	.	.
4歳	100.0	17.6	21.7	18.3	30.4	10.6	.	.
5歳	100.0	13.7	16.3	19.3	25.1	19.7	4.5	.
6歳以上	100.0	16.6	12.6	14.3	31.1	12.3	7.9	3.5

注：総数に不詳を含む。

(2) 就学前児童の保育状況

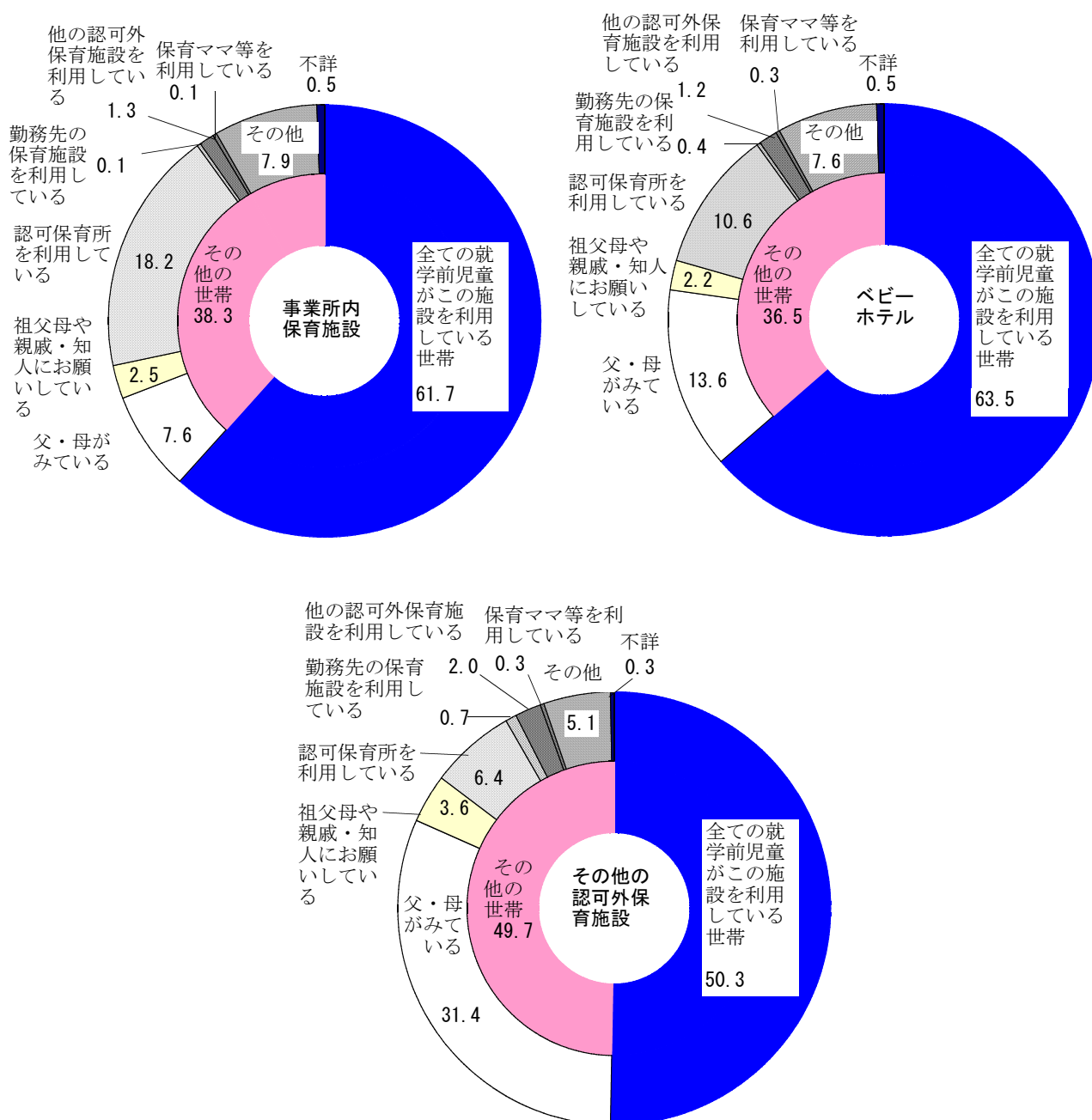
就学前児童が2人以上いる世帯について、その保育状況を見ると、全ての類型で「全ての児童がこの施設を利用している世帯」が5割以上となっている。

その他の世帯について、この認可外保育施設に入所していない就学前児童のうち、最も年齢の低い子の保育状況を見ると、「事業所内保育施設」では「認可保育所を利用している」が18.2%となっている。「ベビーホテル」では「父母がみている」が13.6%、「認可保育所を利用している」が10.6%、「その他の認可外保育施設」では「父母がみている」が31.4%などとなっている。(図6)

図6 就学前児童が2人以上いる世帯の保育状況

(単位：%)

平成16年10月1日現在

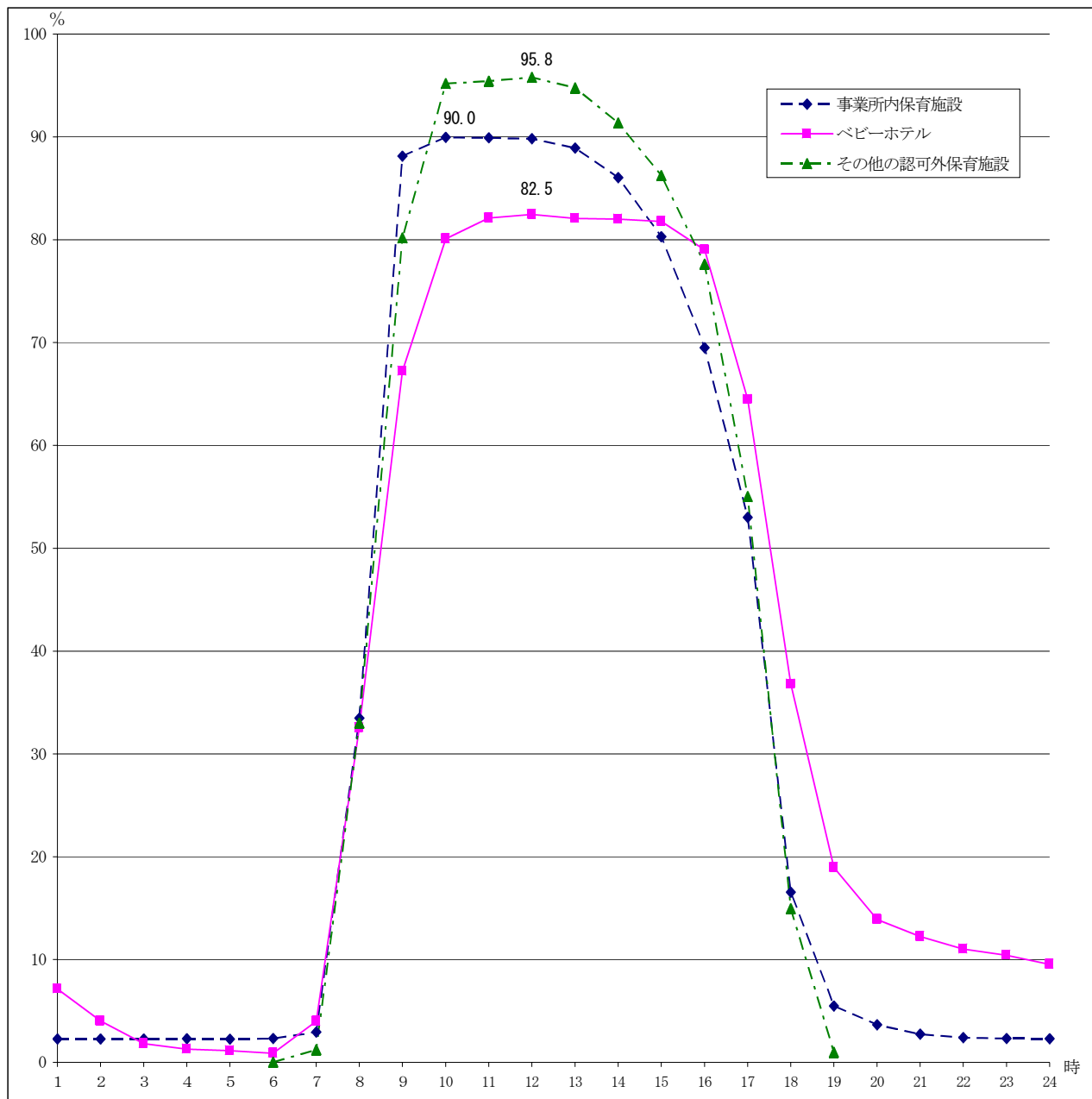


(3) 施設の利用時刻（平成16年9月）

施設の利用児童を時刻別にみると、利用児童が最も多い時刻は「事業所内保育施設」では「10時」で90.0%、「その他の認可外保育施設」では「12時」で95.8%となっている。「ベビーホテル」では「12時」で82.5%と、他と比べて割合が低く、「23時」の時点でも1割以上の児童が施設を利用している。（図7）

図7 施設の類型別にみた時刻別利用児童数（割合）

平成16年9月



注：1) 毎時00分ごとの、利用児童総数に対する割合を示している。

2) 00分ちょうどに利用開始した児童を含むが、利用終了した児童は含まない。

(4) 月額利用料（平成16年9月）

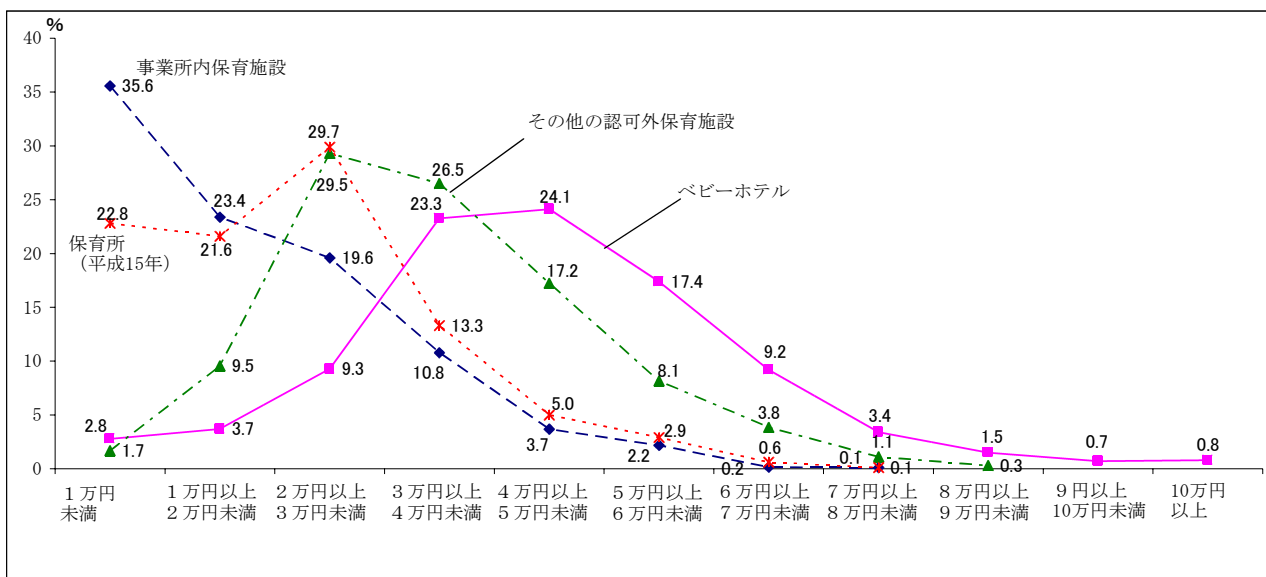
1世帯あたりの月額利用料を利用児童数別にみると、児童1人の世帯の場合、最も多いのは、「事業所内保育施設」が「1万円未満」で35.6%、「ベビーホテル」は「4万円以上5万円未満」で24.1%、「その他の認可外保育施設」は「2万円以上3万円未満」で29.5%となっている。

児童2人の世帯の場合、最も多いのは、「事業所内保育施設」が「1万円未満」で25.0%、「ベビーホテル」と「その他の認可外保育施設」は「4万円以上5万円未満」で、それぞれ15.8%と22.0%となっている。（図8）

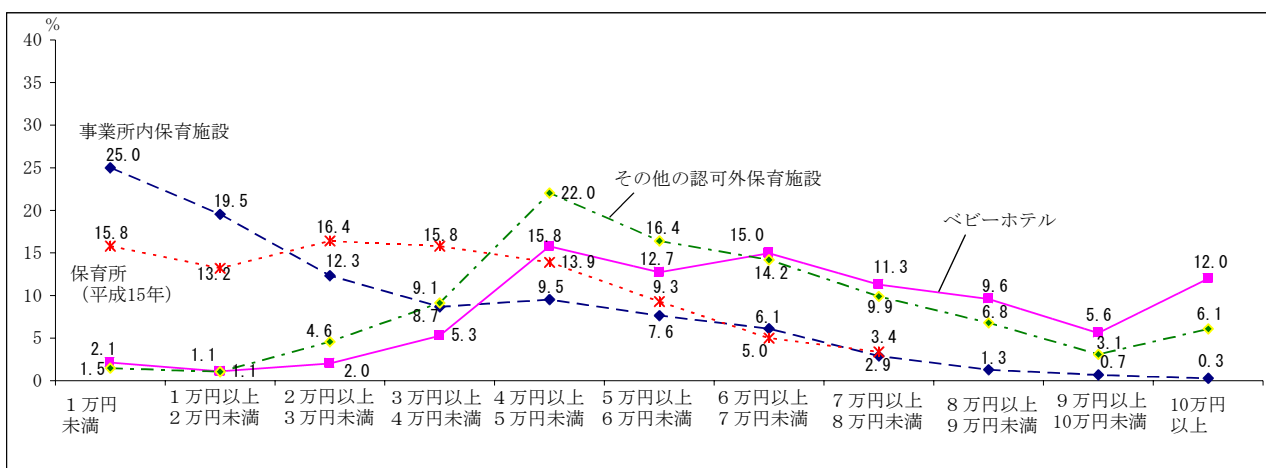
図8 施設の類型、利用児童数別にみた1世帯あたり月額利用料

[児童1人の世帯]

平成16年9月



[児童2人の世帯]



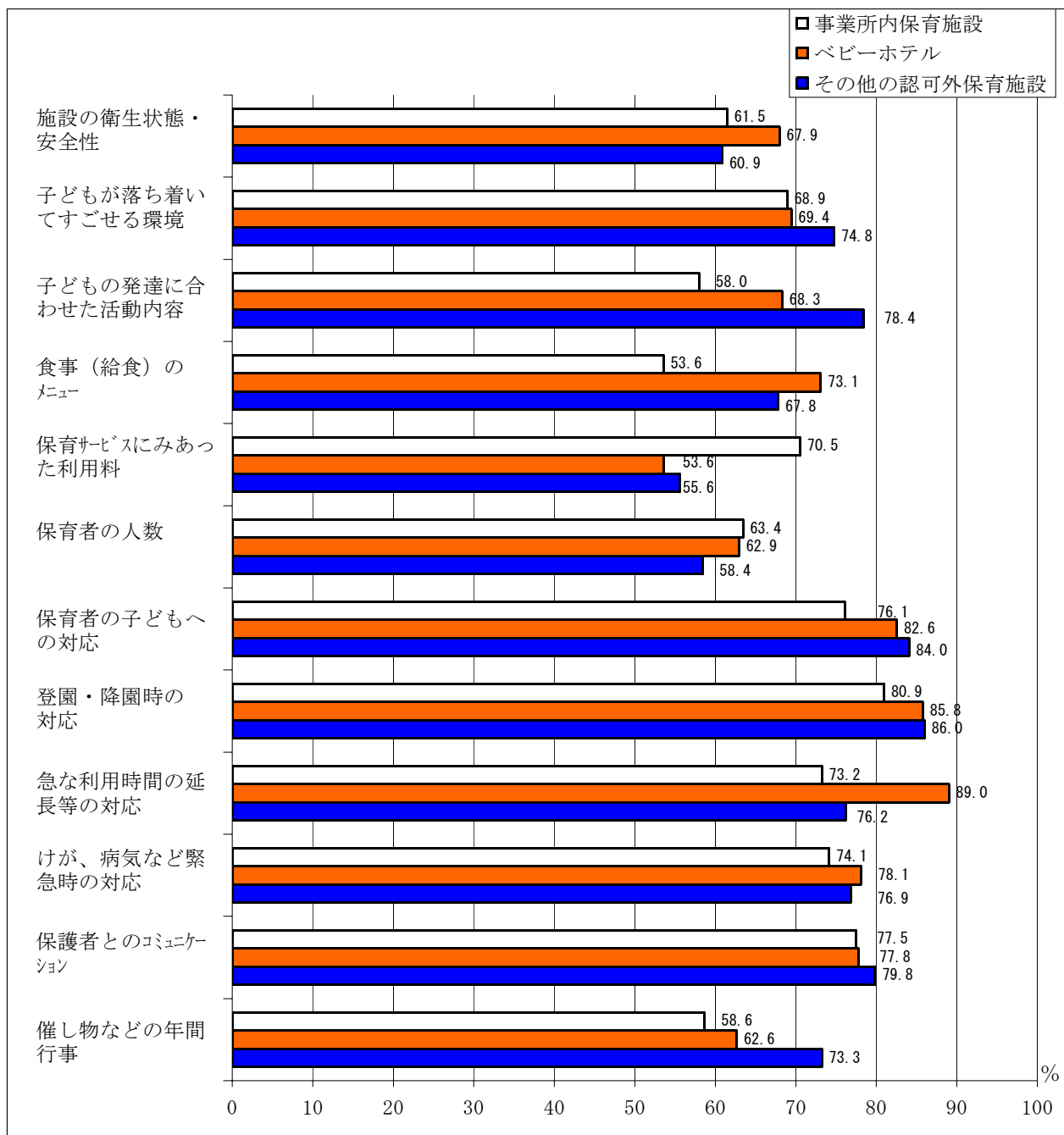
注：保育所（平成15年）の「7万円以上8万円未満」には8万円以上を含む。

(5) 施設に対する利用世帯の満足度

施設に対する利用世帯の満足度をみると、「事業所内保育施設」で「満足している」割合が多いのは「登園・降園時の対応」が80.9%、「保護者とのコミュニケーション」が77.5%となっている。「ベビーホテル」では「急な利用時間の延長等の対応」が89.0%、「登園・降園時の対応」が85.8%と多く、「その他の認可外保育施設」では「登園・降園時の対応」が86.0%、「保育者の子どもへの対応」が84.0%と「満足している」割合が多くなっている。(図9)

図9 施設の類型別にみた施設に対する利用世帯の満足度（複数回答）

平成16年10月1日現在



用語の説明

- 1 「認可外保育施設」： 保育所と同様の業務を目的とする施設であって、都道府県知事の認可を受けていない施設
 - (1) 「事業所内保育施設」： 事業主が従事者のために設置している施設
 - (2) 「ベビーホテル」： 次のいずれかを常時運営している施設
 - ア：夜8時以降の保育
 - イ：宿泊を伴う保育
 - ウ：利用児童のうち一時預かりの児童が半数以上
 - (3) 「その他の認可外保育施設」： 事業所内保育施設、ベビーホテル以外の認可外保育施設

- 2 「児童福祉法に基づく届出」： 児童福祉法の一部改正により、平成14年10月から認可外保育施設については、開設日から1月以内に都道府県知事に届出を行うこととされている。
ただし、1日に預かる児童が5人以下の施設や1日に預かる従業者以外の児童が5人以下の事業所内保育施設などは届出は不要とされている。

- 3 「世帯」： 調査日現在、住居と生計（日常生活を営むための収入と支出をいう）を共にしている人々の集団をいう（施設を利用している児童と同居している者を含み、同居していない者は除いたもの）。

- 4 「世帯構造」： 施設を利用している児童のいる世帯の世帯構造は、次の分類による。ただし、単身赴任等で長期（概ね3か月以上）にわたって不在の者は含まれない。
 - (1) 両親と子の世帯
父母及び子で構成する世帯
 - (2) 三世帯世帯
父母又はそのいずれか、祖父母又はそのいずれか及び子で構成する世帯
 - (3) 母子世帯
母及び子で構成する世帯
 - (4) 父子世帯
父及び子で構成する世帯
 - (5) その他の世帯
(1)～(4)以外の世帯

- 5 「月額利用料」： 施設を利用する保護者が、受ける保育サービスの対価として、施設に支払った平成16年9月分の料金の総額をいう（一時的に払う入会金やおむつなどにかかる費用は除いたもの）。